

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、海水浴場から避難する一時滞在者、合計**256人分**:バス**7台**。
- 各事業所の従業員の避難方法については各事業所単位で周知(施設敷地緊急事態で、自家用車により帰宅)。

		想定対象人数 <sup>※</sup> (人)	必要車両台数 (台)	備考
自家用車で避難が できない住民	おおい町	57	2	1台のバスが複数箇所をまわり乗車 1台当り45人程度の乗車を想定 【資料P37】
	小浜市	27	1	
観光施設から避難する 一時滞在者	おおい町	135 (1,343 × 0.1)	3	バス1台当り45人程度の乗車を想定 1日あたりの観光客数1,343人のうち、 9割以上が自家用車で訪問している (『平成27年度観光客入込調査おおい町』) ことを踏まえ、その1割を想定 対象人数として算入。 【資料P38】
	小浜市	—	—	
海水浴場から避難する 一時滞在者	おおい町	37 (366 × 0.1)	1	バス1台当り45人程度の乗車を想定 1日あたりの海水浴客366人のうち、 9割以上が自家用車で訪問している (『平成27年度観光客入込調査おおい町』) ことを踏まえ、その1割を想定 対象人数として算入。 【資料P39】
	小浜市	—	—	
<b>合計</b>		<b>256</b>	<b>7</b>	—

※ 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

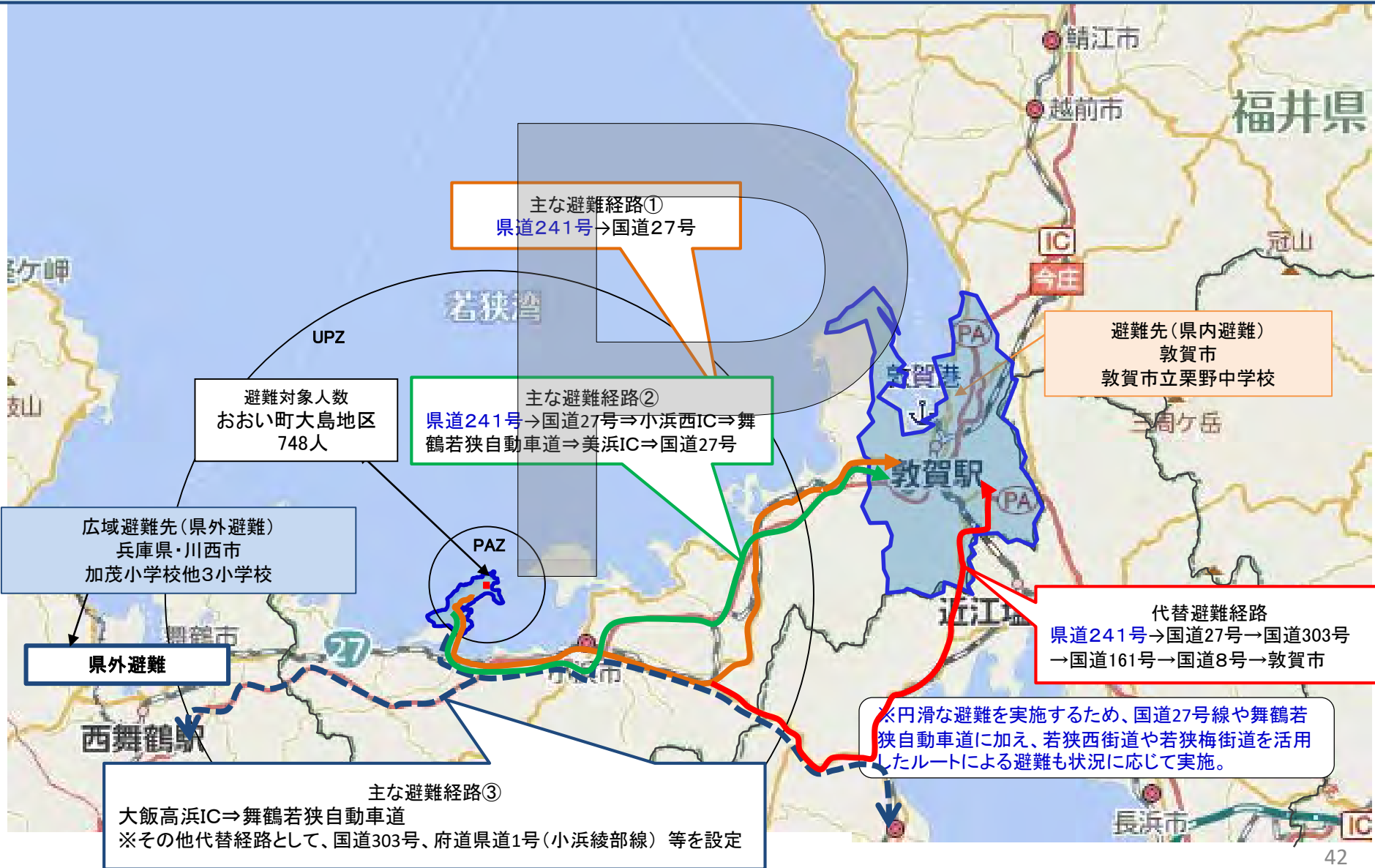
- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方れいなんのバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

		確保車両台数 (台)		備考
		バス		
(A) 必要車両台数		7		
(B) 確保車両台数		7		
確保先	バス会社 <small>れいなん</small> [福井県嶺南地方]	3		保有車両台数 バス173台
	関西電力	4		保有車両台数 バス9台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

# おおい町大島地区から避難先施設までの主な経路

- ▶ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートより避難を実施。



- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートより避難を実施。

